

JAみえなか

自己改革

自己改革報告書2025

不断の自己改革
への取り組み



農業生産の拡大
農業者の所得増大



持続可能な
JA経営の確立



元気な
地域づくり

みんなの笑顔のまんなか
みえなか農業協同組合

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

JAみえなかは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

JAみえなか「不断の自己改革」への取り組み

JAみえなかは、第1次中期経営計画（令和4年度～令和6年度）と併せて、自己改革を実践するための具体的な方針や重点目標・目標値等を明示した自己改革工程表を設定しました。この3年間、地区別懇談会や支店運営委員会等、様々な事業活動の場において組合員の皆さまとの対話を大切にしながら、自己改革の実践に全力で取り組んできました。そして、これまでの実績と組合員の皆さまからの評価、期待の声等をもとに、第2次中期経営計画（令和7年度～令和9年度）を策定し、さらなる自己改革に取り組んでいます。

これからも組合員の皆さまとの対話を大切にしながら、事業環境の変化や組合員ニーズの多様化に「不断の自己改革」で挑み、農業・JAの未来のために、今やるべきことを着実に実践します。

JAみえなかは、組合員・地域から「あってよかった、なくてはならないJA」として信頼され、親しまれる「みえなか」を目指します。

経営理念

JAみえなかは、食・農・自然を大切にし、協同の力を発揮して、豊かなくらしと地域づくりに貢献します。

第2次中期経営計画（令和7年度～令和9年度）

【主題と副題】

次代につなぐ「総合事業」と「協同活動」の基盤づくり
～組合員・地域とともに「食」「農」「くらし」を守ります～

JAみえなか「不断の自己改革」への取り組み

基本目標Ⅰ 食料・農業基盤

多様な農業者の活躍と連携により、「農業生産の拡大」を通じて「農業者の所得増大」につなげ、多彩な地域農業の維持・継続を目指します。

基本目標Ⅱ 経営基盤

不断の自己改革を継続・実践し、持続可能なJA経営を確立するとともに、組合員や利用者等、JAに関わる全ての人たちから選ばれるJAを目指します。

基本目標Ⅲ 組織・地域基盤

組合員の声に基づいた総合事業や協同活動を展開することで、多様な組合員との関係を深め、豊かなくらしの実現と元気な地域づくりへの貢献を目指します。

農業生産の拡大から農業者の所得増大へ

米の直接販売の強化 加工・業務用野菜の安定供給・計画販売



米の流通過程の中間マージン削減により、農業者の手取り向上を目指して、全農のほか**米卸業者への直接販売**や、**直売所での消費者への玄米予約販売・いまいずり米の販売の強化**に取り組んでいます。

園芸品目では、子会社の**JAベジマルファクトリー(株)へキャベツ等のカット用野菜の出荷**等、需要に応じた加工・業務用野菜の安定供給・計画販売に取り組んでいます。



自己改革工程表 重点目標 米の直接販売や販路拡大による売上増加

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	実績	実績	実績	目標	実績
米の直接販売数量	53,439俵	63,000俵	75,000俵	65,000俵	75,200俵
(参考) 米の集荷数量	128,533俵	139,002俵	132,172俵	130,000俵	101,158俵

※ 令和6年度は、作況不良により集荷量は減少しましたが、米生産者に対する積極的な出荷推進に取り組んだ結果、販売数量は目標を上回りました。



ブランド園芸品目の収量・品質の向上

いちご・キャベツ・なばな・ブロッコリー等のブランド園芸品目について、栽培研修会や園場巡回を通じて、収量・品質向上に取り組んでいます。いちごについては、令和6年度から**三重県オリジナル新品種「うた乃」の出荷販売の本格化**に取り組んでおり、今後、生産拡大を目指します。**キャベツ・ブロッコリーでは、水田農業の担い手経営体や集落営農組織に対して作付け推進を行い、収益性を高める複合経営を提案**しています。



自己改革工程表 重点目標 ブランド園芸品目の収量拡大による売上増加

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
		実績	実績	実績	目標	実績
ブランド園芸品目 市場出荷量		2,763t	2,691t	2,613t	2,794t	2,382t
内訳	(いちご)	(204t)	(169t)	(153t)	(237t)	(142t)
	(キャベツ)	(2,360t)	(2,342t)	(2,272t)	(2,340t)	(2,109t)
	(なばな)	(88t)	(72t)	(69t)	(94t)	(50t)
	(ブロッコリー)	(111t)	(108t)	(119t)	(123t)	(81t)

※ 令和6年度は、品目別に栽培研修会や園場巡回等に取り組みましたが、夏の猛暑と生育期の干ばつの影響で年間通して出荷減となり、目標を下回りました。

生産トータルコストの低減



農業者の生産トータルコストの低減に向けて、土壌診断に基づく肥料・農薬の適正使用や労力軽減の提案に取り組んでいます。

また、**スケールメリット**を活かした肥料の一括仕入れにより、少しでも安く良質な肥料を供給するため、**予約購買の強化**に取り組んでいます。さらに、園芸品目の出荷を目的とするパイプハウスの新設や獣害対策資材の設置に対する一部助成を行っています。

令和4年度から、**肥料・農薬の予約購買による年間購入額に応じた事業分量配当**を実施しています。世界情勢を背景に資材価格が高止まりするなか、**令和6年度は配当割合を5%として、配当金計4,169万円を還元**しました。



自己改革工程表 重点目標

肥料の一括仕入れに向けた予約購買推進によるコスト低減

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	実績	実績	実績	目標	実績
肥料供給数量	60,266袋	59,479袋	60,289袋	72,000袋	59,191袋
対象品目数	3品目	4品目	4品目	4品目	4品目

※ 供給数量には、当用分も含まれています。

※ 令和6年度は、前年度より仕入れ価格は上昇したものの、一括仕入れを実施したことで価格上昇を最小限に抑えることにより、前年度並みの供給数量となりましたが、目標は下回りました。

令和6年度対象品目		当用価格との価格差	コスト低減効果
セラコートR822 エムコート022	化成肥料14-14-14 みえなか園芸化成682	1袋あたり 396円～564円削減	2,570万円

農業者を資金面からサポート



地域農業を支える農業メインバンクとして、農業者を資金面でサポートしています。**担い手金融リーダー（農業融資担当者）を複数人配置・育成し、営農経済事業部門の担当者と連携しながら、訪問活動を通じてニーズを把握し、適切な資金提供ができるように取り組んでいます。**また、大規模農業者等への担い手コンサルティング活動を通じて経営課題を改善するためのソリューションを提供しています。



自己改革工程表 重点目標

農業者向け融資の拡大

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	実績	実績	実績	目標	実績
農業融資新規実行額	665百万円	672百万円	751百万円	605百万円	708百万円

※ 令和6年度は、農業者への訪問活動や経営支援等に取り組んだ結果、目標を上回りました。

良質な米・麦・大豆づくり

1等比率向上を目指し、栽培研修会や圃場巡回を通じて土づくり・施肥・防除の基本技術指導等に取り組んでいます。また、米では高温に強い耐暑性品種や業務用多収品種の作付け、大豆では反収増に向けて新品種「サチユタカA1号」の栽培にも取り組んでいます。

	4年度実績	5年度実績	6年度実績
米 耐 暑 性 品 種	182ha	173ha	187ha
米 業 務 用 多 収 品 種	82ha	93ha	90ha
サチユタカA1号	26ha	50ha	119ha



農産物直売所事業の強化

直営3店舗「きっする黒部」「あぐりネット」「ぬくいの郷」と地元量販店等に設置の「インショップ」（19ヶ所）を運営しています。品揃えや季節のイベントの充実、SNSによる情報発信の強化、職員で結成した「みえなかあぐり隊（MAT）」による農畜産物PR活動に取り組んでいます。

	4年度実績	5年度実績	6年度実績
直売所 イベント回数	280回	235回	247回
直売所 販売品取扱高	312百万円	323百万円	326百万円
インショップ 販売品取扱高	519百万円	527百万円	475百万円



多様な農業者の育成

農業未経験者や農業初心者を対象に、1年かけて野菜作りの基礎を学ぶ菜園塾・野菜塾「みらい」を開講しています。卒業生からは新規就農された方、直売所に出荷される方も誕生しています。

また、福祉事業所との農福連携による農業労働力の確保と就労の場の創出に取り組んでいます。JAや子会社、農業者の圃場で収穫作業や選果場で作業を行っています。

	4年度実績	5年度実績	6年度実績
農業塾受講者数	85人	78人	70人



農業リスクを低減する保障の提案

農業者が安心して農業に専念することを支援するため、ライフアドバイザー（共済渉外担当者）による訪問活動や、農機展示会にて農業リスク診断や診断結果に基づく保障提案に取り組んでいます。

農業リスク診断数
1,278件

（令和6年度実績）



出向く営農指導体制の充実

多様化・高度化する担い手経営体のニーズに対応するため、令和5年4月に「TAC課」を設置しました。TACは本店所属で各エリアに駐在し、関係部署と連携しながら、担い手経営体の課題解決、地域農業の振興に取り組んでいます。

※「JAみえなかの「TAC」とは、担い手経営体を中心に訪問し、情報提供や課題・要望に対応する担当者ことです。



JA・子会社による農業経営

農業者の支援と地域農業の維持・発展のため、JA及び子会社の（株）JAアグリサポートだいちでは農業経営を行っています。自ら農業生産を行うほか、新規就農者の育成、農作業支援等に取り組んでいます。



営農振興助成金の創設

次代の農業経営の担い手となる新規就農者の確保等への取り組みの一つとして、アスパラガスの施設栽培を進めています。生産者確保のため、令和7年度新たに営農振興助成金を創設し、新規取り組みや経営規模の拡大に対する支援を行います。



レンタル農機及び修理・整備サービスの強化

高性能農機具から小型農機具まで、多様な農業者それぞれのニーズに沿った農機具の提案、修理・整備サービスの強化、レンタル農機及び中古農機の取り扱い拡充に向けて取り組んでいます。令和5年4月には、点検整備の迅速化のため、JA管内のコンバイン点検整備を1拠点に集約しました。



共同利用施設の体制整備

共同利用施設の老朽化が進むなか、安定稼働を維持するため、計画的な設備・機器の更新に取り組んでいます。また、共同乾燥調製施設の効率的な運営に向けて、施設の機能・体制整備の検討を行っています。令和5年度は白山ライスセンターの大規模改修、令和6年度は東部カントリーエレベーター乾燥機増設を行いました。



JAみえなかの自己改革 元気な地域づくり

協同活動を通じた 組合員・地域との関係強化



地域の拠り所となる親しまれるJAを目指して、ふれあい・交流を深めることを目的に組織全体で行う「1支店等1協同活動」に取り組んでいます。組合員・地域住民・JA役職員が一緒になって企画・運営する「地域ふれあい活動」、JA役職員が主体となり地域に貢献する「CSR活動」、より地域に身近な情報を発信する「支店・事業所だより」に、各部署が創意工夫して取り組んでいます。



【令和6年度の主な活動】

- ・地域ふれあい活動…農業体験学習、親子料理教室、家庭菜園教室、地域イベントへの参画 等
- ・CSR活動…交通安全啓発、清掃活動、地域行事への参加、支店来店者イベント、スマホ教室、特殊詐欺防止啓発 等

自己改革工程表 重点目標 1支店等1協同活動の実践

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	実績	実績	実績	目標	実績
活動部署数 (実施率)	47部署 (87%)	49部署 (87.5%)	49部署 (87.5%)	全店舗・事業所	51部署 (92.7%)

※ 令和6年度は、活動が活発になったことから、活動数は560となり前年度を上回りました。

対話による組合員の意思反映・運営参画の仕組み構築



組合員の声に基づく事業運営や自己改革実践サイクルの構築のため、組合員との対話による意思反映・運営参画の仕組みづくりに取り組んでいます。また、准組合員を「JA事業の利用と協同活動への参加を通じて、農業・地域経済の発展を農業者とともに支えるパートナー」と位置づけ、正組合員と准組合員が一体となった事業運営を目指しています。

対話手段として「地区別総代懇談会」「地区別座談会」「支店運営委員会」を開催し、中期経営計画の策定前には「組合員アンケート」を実施しています。



自己改革工程表 重点目標 対話・意思反映

	令和5年度実績	令和6年度計画	令和6年度実績
地区別総代懇談会	10地区にて開催	10地区にて開催	10地区にて開催
支店運営委員会	34地区延べ57回開催	34地区年2回開催	34地区で延べ55回開催
広報モニター制度	23人に年4回アンケート	30人に年3回アンケート	30人に年3回アンケート
自己改革の取り組みと成果を周知	リーフレットの作成、 広報誌・HP等へ掲載	リーフレットの作成、 広報誌・HP等へ掲載	リーフレットの作成、 広報誌・HP等へ掲載

※ 令和6年度は、すべての地区で支店運営委員会が開催され、それぞれの地区の実情に即した対話が行われました。このほか、地区別座談会を16会場で開催しました。

伝わる広報活動の展開

広報誌や地域コミュニティ誌、公式Webサイト、SNS、日本農業新聞、パブリシティといった多様なメディアを使って、JAみえなかの食と農、事業活動、自己改革について、積極的な情報発信に取り組んでいます。また、JAみえなが事業活動を通じて行うSDGsの取り組みについても、広報誌等で情報発信を行っています。

	4年度実績	5年度実績	6年度実績
メディア掲載件数	42本	45本	32本
LINE友だち登録数	3,207人	3,671人	4,133人
Instagramフォロワー数	1,033人	1,406人	1,640人



女性の運営参画推進

女性の意見を反映したJA運営を実現するため、女性組織連絡協議会と連携した女性組合員の加入促進やJA女性役員・女性総代の増員に取り組んでいます。

	4年度実績	5年度実績	6年度実績
女性正組合員新規加入人数	164人	215人	98人

* 資格変更含む

女性役員（女性比率）
5人（15.2%）

女性総代（女性比率）
107人（21.4%）



相続・事業承継支援体制の強化

農家組合員が次世代・後継者へ円滑に事業承継・資産承継ができるように、令和4年4月には相続窓口「相続事業承継センター」を設置し、税理士や司法書士等の専門家と連携・調整を図りながら、相続発生前・発生後の相談・支援に取り組んでいます。また、必要な専門知識を有する職員の育成を行う等、相続・事業承継支援体制の強化に取り組んでいます。

	4年度実績	5年度実績	6年度実績
相談・事業承継相談件数	80件	96件	125件
税務相談件数	62件	80件	78件



事業活動を通じた組合員・次世代との関係強化

農業者の減少や組合員の世代交代が急速に進み、JAと組合員・次世代との将来に亘る関係構築が課題となるなか、令和5年2月に「組合員対応方針」を制定し、JAファンづくりや組合員の維持・拡大、次世代組合員へのアプローチ強化に向けて取り組んでいます。



女性組織活動の維持・拡大

女性組織会員と意見交換を行いながら、食・農・くらし等をテーマに元気な地域づくりに向けた様々な活動を行っています。

また、女性組織仲間づくり運動や、食農教育活動・フレッシュミズ活動等を通じて新たなＪＡファンづくりに取り組んでいます。



地域の居場所づくり・健康づくりへの取り組み

助け合い組織では、ふらっとほーむやミニデイサービスの実施、嬉野福祉会が行う配食サービスへの協力等、高齢者支援や地域住民同士の交流活動に取り組んでいます。また、福祉事業では、いつまでも健康で住み慣れた地域で暮らし続けられるように、介護予防プログラムの提供や、健康と笑いをテーマにした講座「健康倶楽部」を開講しています。令和6年4月には松阪市の委託を受けて、うれしのいきいきサロンを開所しました。



地域の住環境の整備と農住まちづくり活動の支援

市街化区域に隣接した遊休農地の有効活用のため、竹林まちづくり推進協議会（松阪市山室町）が運営する農業体験農園の活動を支援しています。農を介した地権者と農園会員との交流、地域コミュニティの形成に貢献しています。



総合事業を通じた地域インフラ機能



ＪＡみえなかでは、農業関連事業のほか、信用事業、共済事業、生活購買事業（住宅設備、燃油配送、葬祭等）、介護・福祉事業、不動産・資産管理事業といった総合事業を通じ、地域のインフラとして組合員・地域住民の安心できるくらしに貢献しています。



JAみえなかの自己改革 健全経営の堅持

中期経営計画に基づいた計画経営の実践 持続可能な経営基盤の確立・強化



常勤役員による進捗管理レビューや組合員との対話を通じて、自己改革実践サイクルを構築し、第1次中期経営計画で設定した自己改革項目の着実な実践に取り組みました。

一方で、みえなか管内の少子高齢化や農業者の減少による正組合員数の減少が進んでおり、現在、取り組んでいる事業改革を着実に進めた場合の5年後の成り行きシミュレーションを行ったところ、5年後には現状と比べて事業利益が減少するものの、一定水準の利益を継続的に確保できる見通しとなりました。しかしながら、事業利益の減少を事業管理費の削減で補っている収支構造自体に変わりはなく、事業管理費の削減が限界を迎える中で、5年後のその先を見通した収支改善に取り組んでいく必要があります。

そこで、「不断の自己改革」を支える経営基盤の確立・強化のため、令和3年度からプロジェクトを立ち上げ、検討を重ねてきました。**令和5年度は、多彩な地域農業の振興と赤字縮小の両立を図るため、営農経済事業の体制整備を実施**しました。また、**令和6年度には、支店・事業所再編検討委員会を設置し、新たな拠点としての店舗運営体制**について検討を行いました。

自己改革工程表 重点目標 営農経済事業にかかる稼働率向上に向けた機能再編

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	実績	実績	実績	目標	実績
拠点事業所の集約化	—	2拠点	6拠点	集約化の検証	集約化の検証

自己改革工程表 重点目標 労働生産性向上に向けた金融店舗の体制整備

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	実績	実績	実績	目標	実績
支店機能の強化・見直しと効率化店舗化	検討	分析・検討	分析・検討	検討後店舗数	店舗数決定

※令和6年度は、支店・事業所再編検討委員会が答申した「JAみえなかの新しい店舗運営体制について」が理事会で承認されました。金融店舗数20店舗構想に向けた新たな支店・事業所運営体制の構築について、今後も継続し検討していきます。

◆ 営農経済事業 体制整備

- 令和4年 4月
 - 住宅設備事業の集約（生活センターの集約移転）
- 10月
 - 葬祭事業の集約（2グループによる運営）
- 令和5年 4月
 - TAC体制の構築（TAC課の新設・担当者増員）
 - 農機事業の整備（コンバイン点検整備の拠点集約）
- 10月
 - 農作業支援センター 営農振興センターの整備（一部センターの集約・移転統合、13拠点から10拠点）
 - 営農施設センター一志の整備（施設管理に特化）

◆ 収支改善に向けた実践施策（一部）

- 職員によるドローンを活用した共同防除による費用削減
- アプローチリストの活用による購買品取扱高の拡大・JAシェア率の向上
- 住宅設備関連事業のJAシェア率の向上

JAみえなかの自己改革工程表（数値編） （令和7年度～令和9年度）

重点目標

成果指標・目標値

農業者の所得増大・農業生産の拡大

米の直接販売や販路拡大による売上増加

対象者：担い手経営体や中核的担い手等

想定 売上増加効果

令和6年度実績

75,200俵

JA米コシヒカリ1等
1俵あたり870円

※直接販売等にかかる売上増加効果（過去3か年平均）

主要園芸品目（5品目）の収量・品質向上による売上増加

対象者：中核的担い手や多様な担い手等

想定 売上増加効果

令和6年度実績

2,382 t
（4品目）

市場単価
1Kgあたり69円～1,258円

肥料の一括仕入れに向けた予約購買推進によるコスト低減（主要4品目）

対象者：必要とする全ての者

想定 コスト低減効果

令和6年度実績

59,191袋

1袋あたり387円～582円

令和7年度 令和8年度 令和9年度

目標

目標

目標

67,000俵

69,000俵

71,000俵

令和7年度

令和8年度

令和9年度

目標

目標

目標

3,475 t

3,485 t

3,500 t

令和7年度

令和8年度

令和9年度

目標

目標

目標

60,000袋

62,000袋

65,000袋

農業経営支援のための資金提供

農業資金の供給

令和6年度実績

708百万円

令和7年度

令和8年度

令和9年度

目標

目標

目標

635百万

635百万

635百万

地域の活性化

1支店等1協同活動の実践

令和6年度 実績

51部署で実施（560活動）

令和7年度

令和8年度

令和9年度

目標

目標

目標

560活動

570活動

580活動

経営基盤の確立・強化

将来を見据えたJA経営基盤の確立・強化

令和6年度 実績

店舗数決定

令和7年度

令和8年度

令和9年度

目標

目標

目標

26店舗

26店舗

25店舗

対話・意思反映

項目

令和6年度実績

令和7年度計画

地区別総代懇談会による対話

10地区にて開催（306人出席）

10地区で開催

地区別座談会による対話

16地区にて開催

16地区で開催

支店運営委員会による対話

34地区で延べ55回開催

全地区で開催

広報モニター調査の実施

30人に年3回モニター調査を実施

30人に年3回モニター調査を実施

自己改革の取組及び成果を周知

リーフレットの作製、
広報誌・HPへの掲載

リーフレットの作製、
広報誌・HP等への掲載

J A 綱領

・・・わたしたち J A のめざすもの・・・

わたしたち J A の組合員・役職員は、協同組合運動の基本的な定義・価値・原則（自主、自立、参加、民主的運営、公正、連帯等）に基づき行動します。そして、地球的視野に立って環境変化を見通し、組織・事業・経営の革新をはかります。さらに、地域・全国・世界の協同組合の仲間と連携し、より民主的で公正な社会の実現に努めます。

このため、わたしたちは次のことを通じ、農業と地域社会に根ざした組織としての社会的役割を誠実に果たします。

わたしたちは、

- 一、地域の農業を振興し、わが国の食と緑と水を守ろう。
- 一、環境・文化・福祉への貢献を通じて、安心して暮らせる豊かな地域社会を築こう。
- 一、J A への積極的な参加と連帯によって、協同の成果を実現しよう。
- 一、自主・自立と民主的運営の基本に立ち、J A を健全に経営し信頼を高めよう。
- 一、協同の理念を学び実践を通じて、共に生きがいを追求しよう。

◆ J A みえなか 組織・事業概況 (令和 6 年度実績)

(注) 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しています。

組織規模	実績	事業規模	実績	経営成績	実績
組 合 員	32,086人	貯 金	4,517億円	事 業 総 利 益	61億8,196万円
(うち正組合員)	(14,828人)	貸 出 金	935億円	事 業 利 益	7億1,254万円
(うち准組合員)	(17,258人)	長期共済保有高	7,877億円	経 常 利 益	9億6,644万円
職 員	610人	購 買 品 取 扱 高	47億円	税 引 前 当 期 利 益	9億2,413万円
(うち正職員)	(509人)	販 売 品 取 扱 高	55億円	当 期 剰 余 金	7億332万円

J A みえなか
イメージキャラクター

J A みえなかの“今”を発信中！

公式 W e b サイトや S N S では、J A みえなかの最新情報をお届けしています。
ぜひチェックしてみてください。



J A みえなか公式 W e b サイト

<https://www.ja-mienaka.or.jp/>



J A みえなか公式 S N S

Instagram

Facebook

LINE

YouTube

アクセスは右の二次元コード
からお願いします



ミーナ